

競技注意事項（案）

1 競技について

- (1) 本競技会は日本陸上競技連盟（以下、日本陸連）競技規則および本大会申し合わせ事項によって運営する。
WRk種目（リレー、投擲、混成種目以外）については2025年度WA競技規則を適用する。
- (2) 競技者招集について
 - a 招集所は、本競技場室内走路内に設ける。入口は競技場の北側スタンド階段下となる。
 - b 競技者は招集開始時刻に招集所に待機し、最終確認を受けること。
 - c 競技者本人がアスリートビブス、競技用靴・衣類持ち物等の点検を受けること。
 - d 日本陸連競技規則TR3に基づき、携帯電話等の機器の持ち込みは禁止する。
 - e 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は最初の種目の招集開始時刻前までに招集所においてある「2種目同時出場届」を招集所に提出すること。
 - f 出場種目を欠場する場合は、招集所に置いてある「欠場届」に必要事項を記入し、当該種目の招集開始時刻までに招集所に提出すること。
 - g 棒高跳競技者は招集所においてある「支柱移動申込用紙」を招集後に棒高跳競技役員に提出すること。
 - h 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - i 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第2種目以降は混成競技者控室にて点呼後（トラック競技は競技開始の20分前、フィールド競技は40分前）、係員の誘導により競技場所へ移動する。混成競技者控室は、メイン競技場内室内走路南側に設ける。
- (3) アスリートビブスについて
 - a 競技者は競技中、主催者が用意した2枚のアスリートビブスを、大きさを変えずに胸と背にはっきりと見えるように付けなければならない。跳躍種目の競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - b トラック競技に出場する競技者は、主催者が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。リレー競技については、4×100mRは第4走者のみ、4×400mRは第2～4走者は左右両腰に腰ナンバー標識を付けること。
 - c 1500m以上のレースについては、予選・決勝とも、胸背部に別のビブスを使用する。招集の際、正規のビブス（プログラム記載の物）を持参すること。
 - d 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」…と順位を示す主催者が用意するアスリートビブス（胸のみ）および腰ナンバー標識を使用する。
- (4) トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則TR16の規定通りとする。
- (5) スパイクの長さは9mmを超えてはならない。また走高跳およびやり投の場合は、12mmを超えてはならない。スパイク取付け位置は11か所を超えてはならない。またスパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。（日本陸連競技規則TR5.2に準ずる）
- (6) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（日本陸連競技規則TR5.2に準ずる）
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、全ての種目で20mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目について、全ての種目で20mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソールの厚さはシューズかかと部の中心点のソールの厚さを超えてはならない。

(7) 組・走路順および試技順について

- a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技のレーンおよびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
- b トラック競技における準決勝、決勝の走路順は番組編成員により公正に抽選し、正面ロビー外の掲示板に貼り出す。

(8) リレー競技について

- a リレーのオーダーは、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、第1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。一度申告したその後の変更は医務員の判断がない限り認められない（日本陸連競技規則 TR24.11）ので注意すること。
- b リレーに出場するチームは、同系統のユニフォームを着用すること。

(9) 跳躍競技のバーの上げ方について

- a 下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。
- b 1位および全国大会出場の決定を要するときは、1位決定戦から行う。なお、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m80 1m90	1m85 1m90 1m95 2m00 2m03 以後 3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 1m58 1m61 以後 3cm
混成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m40 1m65	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m68 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m15 1m35	1m20 1m25 1m30 1m35 1m38 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
棒高跳	男子	練習 3m60 4m00 4m40	3m80 3m90 4m00 4m10 4m20 以後 10cm
	女子	練習 2m30 2m70 3m00 3m30	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 以後 10cm

- c 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする。 ※ 棒高跳の練習はゴムバー使用

(10) フィールド競技について

フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

(11) 助力について

競技中における助力は日本陸連競技規則 TR6 に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合は、その種目から除外される場合がある。なお、正面スタンドからの映像機器等を吊り下げて見せる行為等は危険であるため禁止する。サイドスタンドについては、コーチングエリアでのみ映像器機を手渡して見せても良い。

(12) 競技用具について

競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いもの及び、2本以下のものに限り競技実施日の検査（競技開始1時間30分前から1時間前まで）で合格した用具を使用できる。検査場所はメインスタンド下フィニッシュ側倉庫外出入り口に設ける。検査で合格したやりは大会本部で借り上げ、参加競技者で共有で

きるものとする。なお、借り上げたやりが破損しても責任を負わない。借り上げたやりは競技終了後1時間以内に検査場所に取りに来ること。その際、預かり証を提示すること。また、棒高跳用「ポール」については検査の上、各自が持参したものを使用する。検査は招集後に当該跳躍場にて行う。競技終了後は補助競技場横倉庫に保管するので、必ず取りに来ること。ポールの配送については取り扱わない。

2 表彰について

- (1) 各種目とも8位までの入賞者を表彰する。8位までの入賞者は競技役員の指示に従い、入賞者控所に移動すること。
- (2) 男女総合、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ3位まで表彰する。
- (3) 表彰はチームジャージ等で出席すること（ユニフォームでの参加は原則禁止）。

3 応援について

- (1) 競技に支障のあるような応援はしないこと。
- (2) 集団応援は芝スタンドで行うこと。その際フィールド競技に支障がないようにすること。
- (3) フィールド競技については競技進行上、トップ8決定まで手拍子応援を求めない。混成競技のフィールド種目も手拍子応援を求めない。
- (4) 横断幕・のぼり旗などの応援布はメインスタンド、芝スタンドともに最上段のみ許可する。
- (5) ホームストレート延長線上の芝スタンドでのテント設営、横断幕、のぼり旗は禁止する。

4 応急処置について

大会期間中の事故については本競技場医務室にて応急処置のみ行う。怪我等への対応のみとし、発熱等内科的処置は行わない。

5 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に遵守すること。規定外のものが見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。競技終了後は役員の指示により、第1・4ゲートより競技場外へ出ること。ただし、各競技の入賞者は競技役員の誘導によりメインスタンド下通路を通り、表彰者控所へ移動する。
- (4) 本競技場の開場は、6月19日（木）は10時15分、20日（金）～22日（日）は7時00分とする。
- (5) 写真・ビデオ等の撮影については、保護者および学校関係者は、各校顧問から配布された撮影許可申請書をロビー撮影許可書受付に提出することで発行される撮影許可証を装着することで、撮影を許可する。各校の部員はチームジャージの着用で撮影可能とする。なお、撮影禁止エリアでの撮影は禁止とし、メインスタンド中央通路より前と芝生スタンドはスマホ、タブレットのみ撮影可能とする。さらに、ビデオカメラ、デジタルカメラ、一眼レフカメラなどは中央通路より上部のみ撮影可能とする。